

自然を大切にする

しぜんきょうせいしゃかい
自然共生社会

このページでは人と生物が未来にわたり、自然の恵みを
得ることができる自然共生社会のすがたと、その社会を
つくるために商社が取り組んでいる活動を学びます。

しぜんきょうせいしゃかい
自然共生社会を歩く



商社の取り組み 自然共生社会を実現(じつげん)するために

○ フロンの回収・処理

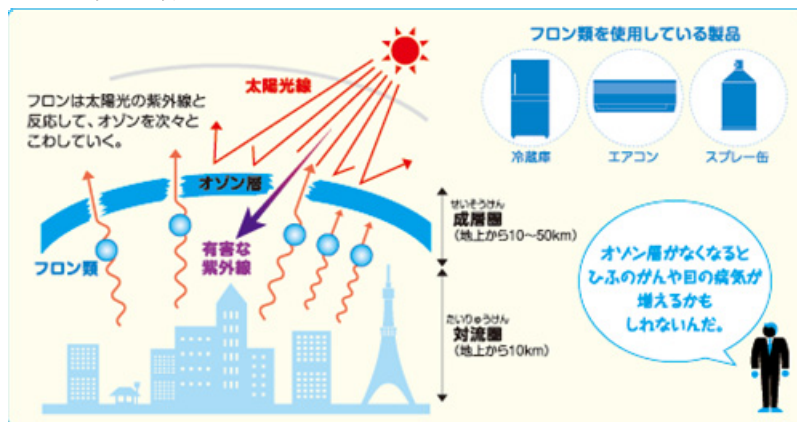
地上から10～50kmの空には、人間や生物にとって有害(ゆうがい)な太陽の紫外線(しがいせん)をブロックしてくれるオゾン層(おおぞん)が広がっています。このオゾン層がフロンなどの化学物質(かがくぶつ)によってこわされ、うすくなっているのがオゾンホールです。商社では、オゾンホールがこれ以上大きくなるないように、世界各地でフロン類の回収(かいしゅう)・焼却(しょうきやく)やリサイクルなどに取り組み、オゾン層の破壊(はかい)の進行を防いでいます。



世界が製造(せいぞう)・使用を禁止した化学物質

フロン類は、冷蔵庫、エアコン、スプレーなどに使用されてきた化学物質(かがくぶつ)です。私たちが冷蔵庫やエアコンなどを使うと大気中に放出され、オゾン層まで上昇(じょうしょう)し、紫外線(しがいせん)と反応することで、オゾン層をこわします。世界各国は会議(かいぎ)を開き、1987年のウィーン条約(じょうやく)によって、フロンやフロンと同じようにオゾン層を破壊(はかい)する物質の製造(せいぞう)・使用の禁止を決めました。フロン類は2030年までに世界で全廃(ぜんぱい)され、フロン類を利用した製品はフロン類を利用しない製品に変わっていくことになっています。

■オゾン層の破壊(はかい)



(クリックで大きくなります)

健康や自然環境に大きな影響(えいきょう)

オゾン層が破壊(はかい)されると、人間や生物に有害(ゆうがい)な太陽からの紫外線(しがいせん)がふりそそぎ、ひふのがんや白内障(はくないしょう)という目の病気になる人が増える危険性(きけんせい)があります。また植物の成長(せいちょう)や、魚のえさ

となる**フロン**の成長が悪くなるともいわれています。今後オゾンをこわす**フロン**類はつくられなくなりますが、**フロン**類が使われてきたこれまでの冷蔵庫やエアコンなどが古くなって捨(す)てられるときは、きちんと回収(かいしゅう)し、処理(しより)しなければなりません。

商社が行っている「フロンの回収(かいしゅう)・処理(しより)」

フロン類は世界で全廃(ぜんぱい)されることが決まりましたが、**開発途上国**(かいはつとじょうこく)では、回収(かいしゅう)・処理(しより)が先進国より遅(おく)れています。そこで商社では、**開発途上国**において**フロン**類を回収し、高温で燃焼(ねんしょう)することで無害化(むがい化)する事業(じぎょう)を行っています。そのほか、**フロン**類を化学分解(かがくぶんかい)して、化学製品の原料に**リサイクル**する取り組みも実施(じっし)しています。この方法では、燃焼した場合にくらべて、エネルギーを節約(せつやく)することができます。燃焼後に発生する産業廃棄物(さんぎょうはいきぶつ)もなくすることができます。商社はこのように**フロン**の回収・処理を通じて、世界中で進められている**フロン**類の全廃(ぜんぱい)に大きく貢献(こうけん)しています。



フロンの回収・焼却設備(インド)



フロンの処理設備(中国)

▲ページの先頭へ